



整形外科



整形外科とは、運動器全般を扱う診療科です。当院が急性期病院であることから、当科は骨折や外傷の比率が9割近くになります。

当院にはドクターヘリもあり、救急を要する患者さんが松江地域以外の島根県全域から搬送されてきます。全身状態が悪い症例は救急救命科の応援を得ながら、多発骨折などの治療にあたっています。骨折として多い高齢者の大腿骨近位部骨折は年間約300件もあり、全国でも有数です。また麻酔科が充実していることから、小児の骨折も多数紹介されてきます。このため、比較的ありふれた骨折から、小児、果ては瀕死の多発外傷まで、当科ではさまざまな外傷に対する対処能力を身につけることができます。手術件数は骨折など外傷を中心に年間約700件あります。初期研修の最後には、上級医の指導の下、高齢者の大腿骨近位部骨折の手術を執刀してもらうことを目標の1つにしています。

また当院は高齢者主体の島根県にあって年間の分娩件数が1,000件を超え、内反足や先天性股関節脱臼などの小児の運動器疾患を経験することもできます。内科的疾患では手術が必要になれば、患者さんが外科に送られますが、整形外科では保存的治療から手術まで全てに対応しています。そのため、総合診療科や家庭医などを目指す方や、当直での整形外科救急疾患に対して自信を持って対応したいと考える方は、保存的治療に特化して、いわゆる「整形内科」を学んで頂くこともできます。

短い期間ではありますが、初療から診察、画像の依頼と読影、手術、術後のリハビリ計画まで研修できる体制を整えています。外科系研修の一つとして、また将来整形外科専門医を目指す方まで、当科は皆さんの初期臨床研修に大きなアドバンテージを提供できると考えています。

